

『中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進協議会ワーキング』
議事要旨

1. 日時：平成 28 年 10 月 3 日（月）14:00～16:00
2. 場所：姫路総合庁舎 福利センター 3 階大会議室
- 3 議事
 - 1) 中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進協議会設置要綱の改正について
 - 2) 中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画のフォローアップについて
 - 3) 主な取組みについて
 - (1) モデル地区（船場川洪水調節施設整備）における取組み
 - (2) モデル地区（七種川地区）における取組み
 - (3) 田んぼダムの取組み
 - 4) 「河川中上流部治水安全度向上対策事業」について
- 4 出席者 33 名（ワーキング構成員）
- 5 配布資料一覧
 - 資料－1 中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進協議会設置要綱
 - 資料－2 中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画フォローアップシート
 - 資料－3 (二) 船場川洪水調節施設整備について
 - 資料－4 モデル地区（七種川地区）の取組み
 - 資料－5 田んぼダムで雨水貯留
 - 資料－6 (二) 夢前川 中上流部治水対策について
 - 資料－7 中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画

【参考資料】

中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画【概要版】

【議事内容】

- 1 設置要綱の改正について（資料－1 を用いて事務局より説明）
- 2 フォローアップについて（資料－2 を用いて事務局より説明）
- 3 主な取組みについて
 - 3－1 船場川洪水調節施設整備について（資料－3 を用いて河川砂防課より説明）

3-2 モデル地区（七種川地区）の取組み（資料-4を用いて福崎町より説明）

3-3 田んぼダムで雨水貯留（資料-5を用いて姫路土地改良センターより説明）

4 河川中上流部治水安全度向上対策事業について

（資料-6を用いて河川砂防課より説明）

5 取組みに対する意見等

【行政構成員】

- ・姫路市での校庭貯留については、船場川：競馬場の雨水貯留の関係で総合的に貯留を検討することとなり、近辺の中学校と小学校を着手した。貯留による効果の検証はしていない。
- ・高砂市の校庭貯留としては、阿弥陀小学校自体は新設する際に、校庭貯留を実施した。貯留実績・効果の検証については確認していない。
- ・朝来市での昨年度まるごと・まちごとハザードマップの取組みは、基本的には学校配付で対応している。配る時期も含め、防災情報は、住民の方に早くつなげることが防災上大変重要と考えている。
- ・神河町では、平成26年度に防災関係のハザードマップを更新した内容説明、また集落を周り防災関係の説明を全40自治会に行った。その際、防災の説明したことや県民センターの推進員の活動により、フェニックス共済の加入率増加に繋がっていると考えている。
- ・市川町では、神河町と同じ形で県民センターの推進員に訪問してもらい、区長会で啓発してもらったり、庁舎内にチラシを置いて来られた方にお配りしてる。また、避難訓練を実施する際、チラシの配布や推進員に来てもらって啓発の取組みを数年前から実施しているため、加入率が上がっていると考えている。
- ・太子町では、役場の新庁舎整備に合わせ、役場の敷地に降った雨水を一時的に貯留する雨水貯留槽を設置している。貯留量は、確か50トン程度です。
- ・光都土木事務所における検討状況をご紹介します。
千種川において、平成25年3月に総合治水推進計画を策定しており、今年が5年目に当たるため、これまでの取組みを検証とか、効果が見える化を行い、推進計画の精度を上げるようこれから検討しようとしている。
平成21年に千種川流域の佐用町で大変な災害があり、緊急河道対策ということで、広いところでは川幅が約2倍になったところもある。その整備を行ってきた効果を流域の皆さんに見ていただけるような、たくさん流せるようになりましたよという定性的なものではなくて、数値で示すことを考えている。従前2メートル、3メートルあった水位が1.5メートルとか、1.8メートルとか、水位が低減されることを数値で見える説明資料をつくっていくことを考えている。
ためる対策では、廃止ため池の治水転用とか、県立高等学校で校庭貯留等を進めて

きた。これらの取組みにより、下流域にどれくらいの効果が出るか、資料を取りまとめていきたい。

また、西播磨地区で、昨年度からたつの市内の田んぼで定点カメラを設置し、雨が降ったときにどのように水が流出するか田んぼの中に水がたまっているかということモニタリングしている。皆さんお住まいの地先の水路の水深が低くなりましたよとか、というような見せ方ができればと思っています。

そなえるでは、モデル地区で赤穂市内の市街地区を設定し、減災のためのソフト対策を位置づけて、市民の皆様はソフト対策がどれくらい周知が図れているかアンケート調査を検討している。これまで5年間の取組みの効果を検証し、協議会に諮って、今後一層の総合治水推進を図っていききたいと考えている。

【県民構成員】

- ・ 神河町では、4月の年度初めの区長会で県民センターの推進員に来てもらって県民共済のPRをやっている。それから、町長懇談会があり40集落を町長が回って、住民と意見交換をやっている。その席に県民センターの推進員にお越しいただいてPRをしていただいている。これらの取組みが、加入率の向上につながっていると思う。
- ・ 姫路市の地元の自治会長をしているが、平成23年度、市川が増水し、堤防の低いところでは、堤防を超えるような状態であった。もう少し下流で、市川へふだんは流れ込んでいる川が市川が増水したため、逆流をして、床上浸水が6戸か7戸ほどあった。これについては、逆流を防ぐ堰をすると、今度は流れ込むほうが増水し、同じような状態が起こるのか、姫路土木へ伺うのでお話しさせていただければと思う。
- ・ 神河町は市川の上流域に属する地域で、田んぼダムの話や学校の校庭を利用して貯留をする説明があった。我々上流域の務め、責務として、地域の住民に呼びかけて全体的に協力ができる体制づくりをするべきと思った。この会に初めて出席させてもらい先進事例の説明を聞きましたので、町に帰ってどのような取組みができるのか皆さんと相談をしながら取組みをしていきたい。
- ・ 河川中上流の治水改革5カ年計画で、新しく位置づけ5カ年の緊急対策として推進すると説明があった。私のところの市川町も上流部なので、市川の河川改修は回ってこない。当然、市川の支川の2級河川の整備も改修もできていない。大きな雨の時、越水するところもあるが、それも直らない。河川の中上流部の治水対策5カ年計画推進について、期待をしている。こういう対策で少しでも小河川、支川河川を整備していただけたらありがたい。
- ・ 近年、雨の降り方が長規模的にピンポイントで降ることがある。福崎町でも小河川等々も抱えている。その際、アメダスを見て雨の降るぐあいを見ながら住民に周知しようと考えているが、その辺の行政から早い知らせができるような方法がとれ

ば、すごくうれしい。河川改修は予算が限られるので、早く避難する方法がどういう方法でとればいいのか、教えていただきたい。

- 須加院川の工事があるということであるが、今年、来年から二、三年に関して、あそこのホタルの種を採取を須加院にお願いをしている。その工事箇所によってはホタルの採取はできない状態になるのかどうか、工事箇所がかわかる範囲で教えて欲しい。